

京焼・清水焼

現代に伝わり続ける職人の技

京の伝統産業に「ふれる」ツアー

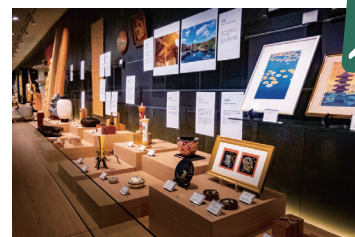
プログラム内容

- ① 京都伝統産業ミュージアム専門スタッフによる伝統工芸品74品目の解説
- ② 京都の研究者又は陶芸家による京焼・清水焼の化学的なアプローチやSDGsにまつわる講演

こ
見
る
と

京都伝統産業ミュージアム

- ・京都の匠の技、74品目にも及ぶ工芸品についてわかりやすく説明
- ・ミュージアムガイドの解説では、西陣織と京友禅の分業による生産過程等も



長い京都の歴史のなかで、日本人の生活様式に密接に結びつき現代に伝わる伝統産業。数多くある伝統工芸品の中で現在、74品目が京都市の伝統産業として認定されています。代表的な西陣織や京漆器、京焼・清水焼のほか、人形や仏具、扇子にうちわなど、長い年月で培われた製法の技術とともに、専門性が高い分業制など特徴的な生産過程などをミュージアムの専門家から聞くことができます。

コ
ン
テ
ン
ツ

歴史ある京都の伝統産業と現代の先進技術の融合と産業の継続、発展に向けた取り組み

講演例 地方独立行政法人 京都市産業技術研究所研究員による「伝統工芸における持続可能な研究事業の取組」

京都市産業技術研究所は、数多くの伝統産業がある京都において、ものづくり文化の優れた伝統を継承しながら、現代における先進的な産業技術を融合させ新たな産業技術を創造するための機関。

江戸時代にさかのぼる京焼・清水焼の歴史や現代の産地の現状から、驚くほどに工数が多い製造工程について学びます。また、釉薬や絵付けなど、陶器の見た目からは想像できない化学的なアプローチは、誰もが興味深く聞くことができるでしょう。

更に、地球環境に対して有害物質の排除や自然素材の取り入れ、新素材の開発など、SDGsを意識した陶器づくりへの挑戦についても知ることができます。



研修者又は陶芸家による講演

講演内容はお客様のご相談に応じて決定します。



終了後は自由に工芸品の鑑賞を

プログラム修了後は、京都伝統産業ミュージアムを自由に見学いただけます。また、ミュージアムショップでの工芸品のお土産ショッピングもお楽しみ下さい。



京都伝統産業ミュージアム
Kyoto Museum of Crafts and Design

〒606-8343
京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1
京都市勤業館みやこめっせ 地下1階
TEL:075-762-2670 FAX:075-751-1692



京都工房コンシェルジュとは



京都工房コンシェルジュは、京都の数多くの伝統工芸工房とネットワークを持つ「京都伝統産業ミュージアム」の運営による、京都の伝統産業体験プログラムです。通常非公開を含む工房の見学や職人とのふれ合い、工芸体験など、ここでしか見て、味わえない伝統工芸の魅力があります。



俊山窯(しゅんざんがま)

6,600円
(税込み)

多くの窯元が軒を連ねる京都東山の泉涌寺地域。大正から三代続く工房を訪ね、工房内の作業の様子を見学するとともに、自由に絵付けした陶器をその場で窯に入れて完成させる「楽焼き」「釉薬塗り」「焼成」の体験を行います。陶芸体験では珍しく、作品はその日のうちにお持ち帰りいただけます。

●窯元工房見学と楽焼・釉薬塗り・焼成体験

詳細は⇒



洸春窯(こうしゅんがま)

6,000円
(税込み)

京都有数の陶磁器産地として名高い京都東山日吉地域で三代続く洸春窯を訪ねます。陶器の表面に立体的な模様を描く「いっちゃん盛り」が施された湯呑みや飯椀に、5色の絵具で絵付けし、色絵陶磁器を制作します。茶人の間で珍重されてきた正に京都らしい歴史ある焼き物の装飾に挑戦します。

●工房見学と交趾絵付け体験

詳細は⇒



陶葺(とうあん)

2,000円
(税込み / グループ料金)

大正 11 年から続く窯元「陶葺(とうあん)」が手がける清水焼は、下絵付けの手法や、高温での焼成技術による鮮やかな発色と強度が特徴です。

京都屈指の大型の工房見学とオリジナルのデザインを施す「素焼き器の絵付け体験」を体験。陶芸体験入門者向きのお手軽なプログラムです。

●工房見学と素焼き器の絵付け体験

詳細は⇒



京都工房 コンシェルジュ

<https://www.kyotoartisans.jp/>

●オプションツアーに関するお問合せは、
京都伝統産業ミュージアム
TEL. 075-762-2670 まで